

令和6年度 第3次佐賀市文化振興基本計画推進懇話会及び
第1回 第4次佐賀市文化振興基本計画策定委員会 議事録

開催日	令和7年3月26日（水）	
開催時間	10時00分～12時	
開催場所	佐賀市役所4階大会議室	
出席者	委員	多良委員、七田委員、西原委員、山田雅子委員、諸井委員、 福島委員、山田健一郎委員、木塚委員、梅崎委員
	事務局	筒井地域振興部長、大野地域振興部副部長、 文化財課：野田課長、角参事、北村副課長、松本係長 歴史・文化課：小林課長、武藤副課長、道田副課長、 小副川主査、常富主事
議事	・議事 1) 第3次佐賀市文化振興基本計画の進捗状況について 2) 第4次佐賀市文化振興基本計画の策定について	
欠席委員	なし	
傍聴者	1名	
報道関係者	なし	

【委員長・副委員長選任】

○事務局

立候補や推薦がないようであれば、事務局案として委員長は多良委員にお願いしたい。

○委員（承認）

○事務局

副委員長は多良委員長から御指名いただきたい。

○委員（異議なし）

○委員長

副委員長は七田委員にお願いしたい。

○委員（異議なし）

【会議の公開・非公開】

○事務局

佐賀市では審議会や委員会等は、個人や団体の不利益になる場合や、会議の運営に支障が出る場合を除き、原則公開としている。公開と決定されれば会議の傍聴を認め、会議録の要約を市のホームページで公開させていただく。異議がなければ、原則どおり公開とさせていただきたいが、よろしいか。

○委員（承認）

◎ 1) 第3次佐賀市文化振興基本計画（以下「第3次計画」）の進捗状況について

○事務局から説明

○委員

資料5について、①はコロナ禍で落ち込んだまま伸び悩んでいるようだが、②はコロナ禍からかなり回復しているようだ、両者の違いはどこにあるのか。

○事務局

②は、市民芸術祭など大きなイベントが再開されると客足が戻った。①は、興味はあるが参加までは至っていない市民が多いのではないかと考えている。

○委員

⑥の目標数が第3次計画に掲載されている目標数と異なるが何か理由はあるか。

○事務局

⑥の目標数は公益財団法人佐賀市文化振興基財団（以下「財団」）の経営改善計画の数値に合わせている。

○委員

・重点事業の中でも人材育成支援が一番大事だと思っている。少子化の中担い手の確保や継承が難しいと実感している。

・人口が減少している中、入館者を数値目標として掲げることも再考の余地があると思う。

○事務局

・人材育成は第4次佐賀市文化振興基本計画（以下「第4次計画」）の肝になると思う。各委員から各団体の継承状況などを伺いたい。

・数値目標を設定するかも含め、委員の皆様で議論いただきたい。

○委員

・文化連盟では指導者、活動者ともに高齢化している。また、若年層の加入が少ないため自然と会員数も減少している。

○委員

無形民俗文化財の見地から伝統芸能等の継承や保存は新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」）で大きな打撃を受けた。できなくなったことで、なくなってしまわないかという危機に陥っているところもあれば、新型コロナの中でも熱い気持ちを持った人がでてきて、若い人たちも一緒にやっつこうと規模を縮小しながら継承できている団体もあると聞いている。

○委員

芸術に直接触れることはとても大切なことだと思っているが、行きたくてもいけない人たちもいる。DX や ITC を活用しアクセスの方法が多様化すれば、より多くの人々が鑑賞できる。また、財団が実施されているようなアウトリーチも積極的に行ってほしい。

○委員

歴史関係のイベントは子ども対象のイベントだけでなく子どもと一緒に来場する大人をターゲットにしたイベントも開催してはどうか。

○財団より資料4のアウトリーチについて説明

○委員

資料5の数値はどのアンケートから得られたものか

○事務局

資料5の数値は、①と②が市民意向調査の結果をもとにし、③と④は教育政策満足度調査の結果に基づいている。

○委員

市民満足度調査は市民アンケート、団体アンケート、子どもアンケートと書かれているものか

○事務局

市民アンケート、団体アンケート、子どもアンケートは第4次計画策定のためのアンケート。このまま第4次計画について説明してもよろしいか。

○委員長

一度、懇話会の総括を行い、先ほどの件は後で議論したい。

- ・数値目標は測り方や信ぴょう性、データのとらえ方など工夫の余地がある。
- ・子どもへのアピールだけでなく、親子体験会などで親にも関心を持たせることも大事だと思う。
- ・DXやITC等のバーチャルの技術も活用し、リアルでないアクセスの仕方を検討。
- ・保存の仕方の一つとして、映像記録の作成も続けてほしい。

◎ 2) 第4次佐賀市文化振興基本計画の策定について

○事務局

先ほどのアンケートの件について補足する。文化振興基本計画策定のためのアンケートは前回とほぼ同じ内容で実施済み。現在集計中のため、次回説明する。

また、資料5の数値目標は毎年実施されている市民意向調査と教育政策満足度調査の数字。第4次計画策定のためのアンケートとは別物。

○委員

計画期間は5年でよいのか。

○事務局

様々な検討を行ったが、5年ごとに見直すために今回は5年とした。

○委員

総合計画は16年、総合戦略は4年ごとに見直しとなっている。4年計画であれば

1年遅れでちょうどよいのではないか。

○事務局

今回は5年で計画したい。総合戦略との調整は次回以降考えたい。

○委員

総合計画もだが、データやAI技術を積み重ねていくと佐賀市らしさがなくなっていくと思う。佐賀市として今回の計画で尖った部分はどこか。

○事務局

市としては、これまで継承されてきた文化を守り伝えつつ、新たな文化が創造される下支えをする計画としたい。

○委員

新たな文化の具体的なイメージは。また、歴史を生かした公園整備や街並み保存とはどのあたりを指しているのか。

○事務局

- ・具体的なイメージはないが、佐賀ならではの土壌で始まる文化に期待している。
- ・松原公園の再整備や柳町のブランディングを予定している。

○委員

すべてを決めすぎず、臨機応変に変更してよいのではないか。

○委員

佐賀市の中心部だけでなく、市内全域の方が読んで、なるほどと思えるような計画にしないといけないと思う。

○委員長（総括）

- ・変えてはいけないものと時代に沿って柔軟に変えていくべきものがある。2本柱で今後取り組んでいただきたい
- ・山や海で育まれた生活文化が伝承芸能へつながっている。幅広く俯瞰的な目線も必要ではないか。
- ・佐賀市は県庁所在地でありながらランドマークがない。ランドマークも一つの観点として計画の中に盛り込んでいきたい。

(終了)